

かながわの風

27
April
2020

<http://www.kacsw.or.jp>



特集

更生支援福祉
ネットワーク構築事業
『手をつなぐ先にあるもの』
..... p.4

- 多文化ソーシャルワーク委員会発足..... p.2
- 子ども家庭支援委員会..... p.3
- たまひよ紀行 会員の皆様の交流の場
づくりをお手伝いします!..... p.5
- 生涯研修センター
eラーニングを活用できます..... p.6
- 2019(令和元)年度 理事会 報告..... p.7
- 公開講座・研修情報..... p.8



多文化ソーシャルワーク委員会 **発足**

委員長 平田 美智子(県央支部) 副委員長 木村 有孝(川崎) 野田 有紀(横浜) 他 委員12名

「国籍、民族等の異なる人々、外国に由来を持つ人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを実現していくこと」を支援するために委員会を新たに発足しました。

2014年より神奈川・国際多文化ソーシャルワーク研究会が自主活動グループとして研究会等を継続してきましたが、その主要メンバーに加え、社会福祉現場や国際交流機関等で外国人支援に携わる社会福祉士が委員を務めます。

神奈川県においても外国人の数が年々増加するに伴い、社会福祉分野での相談も複雑多様化しており、また介護現場においても外国人介護士が増え、社会福祉士等の専門職においても共生社会実現に向けた専門性の取得が求められています。

認定社会福祉士認証の多文化ソーシャルワーク研修(11月21日、22日)を主催する他、年3回の研修と年2回のスタディーツアーを開催していきますので、是非、ご参加下さい。

また多文化理解、外国人介護士支援等をテーマとした講師派遣も致しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

尚、外国人介護士等と交流する多文化交流会は、引き続き、研究会が企画運営します。



全国から集う多文化ソーシャルワーク研修会集合写真



同研修の様子



スタディーツアー・故郷の家東京訪問



講師派遣をした横浜支部南部連絡会勉強会の様子



多文化交流会の記念撮影



インドネシアと中国の介護士等との懇親の様子



子ども家庭支援委員会



『はじめまして!』令和2年4月(2020年度)より始まります『子ども家庭支援委員会』です。

この委員会は、今まで権利擁護事業部の「生活困窮者支援ネットワーク委員会 子ども家庭部会」として長い間子どもの貧困や虐待などの勉強をしてきました。

2015年度から啓発活動を行い、「夜回り先生の水谷修氏講座」や、「定時制高校ドキュメンタリー映画」、「津崎哲郎氏による児童虐待防止講座」、「いじめ問題についての講座」などを開催してきました。

しかし社会では、虐待で命を落とす子ども達や虐めで自殺する子ども達など悲しい事件が続いています。私たち社会福祉士会は《全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会》を実現するために、子どもの保護者や関係機関とともに、子ども達を心身ともに健やかに育成する責任を負わなければならないと思います。

そこで今年度から独立した委員会として、子どもを取り巻く環境を改善する為に、子ども家庭支援に十分な専門性を有する人材を養成し、相談支援の質を担保しようと、様々な講座を開催する予定です。あわせて県民に対しての啓発活動も開催して行きます。昨年度末から「子ども家庭準備委員会」として様々なテーマに分かれてのグループワークを行いながら、4月からの活動を計画しております。(テーマ別部会:①生活保護・子どもの貧困、②子どもの心理・子供若者の引きこもり、③いじめ問題、④子どもの虐待・貧困、⑤社会的養護・里親などになります。)

虐待から子どもを守るために!

昨年度(2019年度)は11月2日に、子ども家庭支援講座『虐待から子どもを守るために!』を開催し、NPO法人神奈川子ども支援センターつなぐ代表理事の飛田桂弁護士、白百合ベビーホームの島田恭子氏、そして本会山下康会長による座談会を行い、これからの社会福祉士会の道を提示しました。



飛田 桂 弁護士



島田 恭子 氏



全体の様子



座談会

いじめ問題を考える

1月25日講座には小池拓也弁護士による『いじめ問題を考える』を開催し、息をのむようなグループワークを行いました。



小池 拓也 弁護士

今年度も様々な講座を開催しますので、社会福祉士会と一緒に《子ども家庭支援》について勉強してみませんか?

『手をつなぐ先にあるもの』

司法福祉ネットワーク委員会
担当理事 菅野 善也

本会では、2009年に地域生活定着支援事業（現在は地域生活定着促進事業）が制度化した翌年の2010年に「地域生活定着支援センター」事業を神奈川県から受託し、10年が経過しました。その事業の一部として、ネットワーク会議というのが行われていた実態を引き継ぎ、本委員会は、2011年より【司法福祉ネットワーク委員会】として独立し現在に至ります。

毎年開催している「司法と福祉最前線!」では、全国から著名な研究者や実践者を招聘し、県内外の各地から関心のある多くの方が集まる研修会となっています。また、当初から着目していた罪に問われた高齢の方や障害のある方等への刑事司法の関りについて、神奈川県弁護士会との協定を結び、情報共有と裁判支援へ向けた協働支援を行うために本委員会は活動を続けてきています。

昨年度より、県から受託した「更生支援福祉ネットワーク構築事業」は、政府の「再犯の防止等の推進に関する法律（再犯防止法）」に基づき自治体が取り組む一つの事業として行われています。この10年近く取り組んできた司法福祉ネットワーク事業はまさにこのことです。昨年度は、県内における更生支援の実践事業所や、横浜刑務所における受刑者への聞き取りを行い、再犯に至る経緯を調査しまとめ、再犯防止への取り組みのきっかけとなった『獄窓記』作者の山本讓二氏の講演も開催しました。

今年は、県内7か所における地域性や各種別などを考慮し、学習会（グループワーク）を実施しました。ス

タートは10月に全国地域生活定着支援センター協議会前会長の田島良昭氏を講師とし、地域定着の制度開始から10年経過し、現在に至るまでについての講演と横浜保護観察所所長をはじめとする関係機関における現状について、シンポジウムを行いました。この後、相模原、川崎、横浜、茅ヶ崎、小田原と各所で高齢分野や更生保護、地域支援など様々な実践を聞き、県内各所の取り組みを再認識する研修を繰り広げました。最後に、奥田知志氏（NPO法人抱僕 理事長）を迎え講演会を開催し、「伴走型支援」をキーワードに、生きづらさを抱える人たちが孤立しがちな状態にならないよう、支援者が繋がりがちな状態に繋がる、といった、私たちソーシャルワーカーとしての立ち位置や関わり方の原点について改めて考えさせられる機会を得ました。

次年度は更に、ネットワークを具体的に構築し、モデルケースへの関りや進め方などを実践的に行い、神奈川県内における再犯防止の一助となるよう、共にソーシャルワーカーとしての支援の在り方を確認しながら、委員会としての取り組みを進めていきたいと思えます。

本委員会へ関心のある方は、原則、偶数月の第4月曜日に集まっていますのでご参加ください。併せて、会員の皆様にも本事業へ引き続きご関心を寄せていただき、研修会や講演会の際には多くのご参加等、今後ともよろしく願いいたします。



シンポジウム



田島 良昭氏



奥田 知志氏

たまひよ紀行



会員の皆様の交流の場づくりを お手伝いします!

委員長 松下 圭一

神奈川県社会福祉士会では、会員の皆様がその専門性を高め、共有できる場等を設けています。

誰もが参加できる研修会以外にも支部活動や委員会活動等がありますが、組織率向上委員会では、皆様が参加しやすいよう、仲間づくりがしやすいようお手伝いしています。詳細は、2019年4月発行の広報誌「かながわの風」23号をご覧ください。

昨年度に引き続き、2020年度も様々な企画を開催するので是非ご参加下さい。



新規会員歓迎・交流会を開催

新規会員同士の交流に加え、各支部長等との橋渡しをお手伝いしました。

基礎研修Iの終了後、同じ会場で、各支部や各分野で意見交換をした後、懇親会にも行き、大変盛り上がりました。

職場を超えたネットワークづくりの第一歩となります。

様々な交流の場「たまひよクラブ」を開催



たまひよ@関東学院大学 (横浜支部)

田園調布学園大学に続き、学生の分野別実習・進路相談等を受けました。神奈川県全域の養成校で開催したいと思います。



たまひよユース

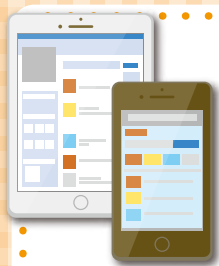
山下会長に若手のうちに身につけておくべき知識や技術について講演頂いた後、20代30代の社会福祉士が夢、目標、課題等を語り合い、懇親会でも盛り上がりました。



たまひよ☆オアシス×情報交換会 (川崎支部)

現場で活動する社会福祉士の共通の課題や分野を超えた社会資源の共有をする場となりました。

社会福祉士を目指すたまご、資格取得後3年未満のひよこ、ベテラン等の対象別、地域別等様々な種類があります。



生涯研修センター

eラーニングを活用できます

eラーニングであれば、受たい講座を、好きな時、好きな場所で受講することができるため、それぞれの学びの機会を増やすことができます。

神奈川県社会福祉士会が加入している日本社会福祉士会において、パソコンやタブレット端末等を利用した、eラーニングを行っています。

このeラーニングは、「遠隔地のため研修に参加できない」「職場のシフトの関係でなかなか休みが取れず長期間の研修に参加できない」など多くの社会福祉士の声を受け、最新情報の提供や講座を実施することを目的に行っています。認定社会福祉士認証・認定機構において、eラーニングを座学研修と同等に実施することに決まったため、今後は認定社会福祉士認証研修も一部実施が予定されています。

2020年2月末現在では、30講座を開講しています。

2019年度追加された講座は以下の通りです。

滞日外国人支援
基礎力習得のための
ガイドブック活用研修

2018年度成年後見
制度利用促進フォーラム
～中核機関の支援機能を
担う人材育成に向けて～

社会福祉士会が行う
スーパービジョン

子どもの発達課題と生活
(未成年後見人
養成研修事前課題)

レジデンシャル・
ソーシャルワーク研修①
一時帰宅支援と
ソーシャルワーク

レジデンシャル・
ソーシャルワーク研修②
高齢者施設からの
一時帰宅支援のスキル

実践研究入門

LGBTQ
ソーシャルワーク序説



神奈川県社会福祉士会の会員の方は、会費からeラーニング運営費用を負担していますので、「独立型社会福祉士研修講義」「子どもの発達課題と生活」の2講座を除き、無料で受講することができます。

今後は、基礎研修の一部をeラーニング化することが予定されるなど、様々な講座が開設される予定になっていますので、ぜひご活用ください。

日本社会福祉士会 eラーニング講座

ホームページ <https://jacsw.informationstar.jp/>



<2019 (令和元) 年度 理事会 報告> (偶数月開催以外は臨時理事会となっています)

■臨時理事会 2020年1月19日(日) 10:00~12:00 ウィリング横浜5階 502

議長: 山下会長、理事出席15名 事務局1名 議事録署名人: 出席全理事 齊藤監事 江原監事

審議事項 議案1: 入退会審査(12月分) 入退会審査 — 12月入会1退会13転入1転出0、12月末会員数3,124名、組織率18.03%

議案2: ばあとなあ神奈川成年後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦、法人後見状況

名簿登録に係る異動状況: 12月1日登録者数561名、新規登録0、家裁名簿登載者数は1月1日で487名。2019年度成年後見人名簿登録研修修了者のうち2月1日付け登録申請者を含めた状況: 1月1日登録者数561、新規登録17、家裁名簿登載者数は2月1日で504。後見人等候補者推薦の状況: 推薦依頼12月は28件、推薦済が8件。継続調整中は18件。12月の不受理は1件。ばあとなあ部員の後見人交代状況: 12月2名の部員辞任。法人後見10件で変更無し。 <以上承認>

協議事項<以下了承>

①2020年度本会全体方針(重点事業等)案: 意見交換後修正、再度メールで確認。 ②2020年度代議員総会開催日: 代議員総会は、2020年6月28日(日)13時~17時の開催。基調講演は継続検討 ③2020年度4月~6月総会までの理事会日程: 次回の理事会で提案検討 ④成年後見報酬手数料の取扱い変更骨子案: 次回の総務企画会議から検討予定。骨子提案内容は変更の可能性あり。 ⑤横浜市のカジノ誘致に関する本会の見解: 見解案の文書確認、修正加筆後、1月20日付本会HP掲載。

報告事項 ①ばあとなあ神奈川名簿登録研修修了 ②横浜市における利用促進事業の現状 ③業務執行理事活動報告 正副会長動向 ④日本社会福祉士会財政基盤の確保プロジェクト会議出席(1月12日) ⑤会計進捗状況(12月分) ⑥2020年度事業計画予算案策定進捗状況 ⑦各推薦後援状況 ⑧2月19日開催通常理事会議事録記録内容の確認。 ⑨支部役員連絡会予定

■第6回通常理事会 2020年2月19日(水) 19:00~21:00 ウィリング横浜5階 502

議長: 山下会長、理事出席12名 事務局1名 議事録署名人: 出席全理事 江原監事

審議事項 議案1: 入退会審査(1月分): 入退会審査 — 1月入会2、退会8、転入1転出3、1月末会員数3,116名、組織率17.98% 議案2: ばあとなあ神奈川成年後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦、法人後見状況 名簿登録に係る異動状況: 1月1日登録者数561名、新規登録16、家裁名簿登載者数は2月1日で577名。後見人等候補者推薦状況: 推薦依頼1月24件、推薦済8件。継続調整中14件。1月不受理1件、取下げ1件。不受理、取下げ内訳一覧の通り。法人後見: 10件で変更なし。 議案3: 2020年度地区コーディネーターの委嘱 議案4: 規則改正案 ①規則2号会費規則改正案6月の代議員総会の議事とする。 ②規則9号局設置規則 ③規則37号生涯研修センター運営規則改正案 ④事業部委員会支部の任期改正案 ⑤基準9号事故対応マニュアル ⑥基準14号 災害対応ガイドライン案 ※今回の理事会検討取消 ⑦基準12号 ソーシャルメディア利用基準案 ⑧細則16号 ホームページ管理・運用に関する細則案 <以上承認>

協議事項 ①新型肺炎への対応(研修開催等): 2月22日(土)・23日(日)の開催研修は消毒液設置、マスク着用等の注意喚起で開催。 ②会計進捗状況(1月分)報告と、年度末までの各事業部委員会の執行予定確認: 各事業部の執行状況を確認。 ③2020年度本会事業計画予算案: 2月25日までに修正等を事務局へ連絡 ④事業計画予算案に関する会員への広報「意見募集」の期間: 3月2日(月)からの1週間本会HP掲載期間 ⑤3月開催理事会追加日程: 3月の開催は感染症拡大防止で変更がある場合は今後の検討とする。3月15日(日)理事会と支部役員連絡会、3月25日(水) ⑥2020年度4月~6月総会までの理事会日程: 4月15日(水) 5月17日(日)、6月9日(火)

報告事項 ①関東甲信越ブロック連絡協議会報告 ②2020年度日本社会福祉士会事務委託契約 ③業務執行理事活動報告(正副会長動向前回理事会以降2月18日迄) ④各委員会事業部活動報告 ⑤各支部活動報告(1月分) ⑥各委託事業報告(12月・1月分) ⑦各推薦後援状況 ⑧厚木ホームレス巡回相談事業 巡回相談員推薦 ⑨事務局職員体制 ⑩1月19日開催 臨時理事会議事録

～公開講座&研修会～

お申込み・
お問い合わせは

電話：045-317-2045

FAX：045-317-2046

e-mail：web@kacsw.or.jp

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局 までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
7	18	14:00	19:00	定例会(勉強会②)、 懇親会・ い～すとの会	「防災と社会福祉士(2)」、 「権利擁護・意思決定支援 (津久井やまゆり園事件から 学ぶ)」(予定)	茅ヶ崎市内	湘南東	会員	無料 (懇親会 別途)

開催を予定しておりました、研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、やむなく開催を中止、あるいは延期する措置を取らせて頂いております。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。なお、中止、延期の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。

<http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/>

神奈川県社会福祉士会 研修 講座

検索



広報委員会よりお知らせ

BEST SHOT を
お待ちしております!



表紙写真大募集!!

あなたの写真で「かながわの風」の表紙を飾りませんか?

広報委員会では「かながわの風」の表紙を飾る写真を募集しています。

テーマ： 神奈川の風景

カメラ： デジタルカメラで、一眼レフやコンパクトカメラ、スマートフォンなど機種は問いません。

画素数： 3024×4032ピクセル以上

送信先： koho@kacsw.or.jp

【ご注意】

- 写真のファイルサイズが大きい場合は、クラウドストレージなどをご利用ください。送信方法がご不明な場合は、左記メールアドレスまでご相談ください。
- 人物を被写体にしないでください。人物が個人を特定できるサイズで写っている場合は、同意を得た場合でも採用しない場合があります。
- 採用する場合は、掲載号発行前にメールにてご連絡を申し上げます。不採用の場合はご連絡を上げませんので、ご容赦ください。

編集委員も同時募集中!

本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願い致します。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00～21:00に開催しております。

(広報委員長：日向 明)

編集後記

～壁があるから
進むべき方向が…～

人が人生を紡いでいく上で、「壁」にぶつかったり、行き詰ったり、迷うことは誰も一度は経験しているのではなからうか。そんな時、「熟れた果実」を優しく摘むように誰かの手が差し伸べられることはなかなか期待できないものである…。

今、訳あって職場を離れようか迷っている。「嫌になった」とか「つまらなくなった」という単純なものではない。綺麗に記すならば「未来に希望が持てなくなった」、「仕事に誇りが持てなくなった」というところだろう。軽い「うつ」のような症状を呈しながら自己解放の一環で休日の庭いじりに汗していると、ダンゴムシが地面を右へ左へと歩いている姿が目にとまった。彼(背中に斑紋が無いのでおそらくオス)は、目の前の障害物に当たる度に左右に進路を変更していく。ダンゴムシやワラジムシには交替性転向反応という習性が備わっているらしい。交替性転向反応とは、動物に見られる行動に関する習性のひとつで、右に曲がった後には左、左に曲がった後ならば右に曲がるというように、曲が

る向き(転向)を入れ替えて(交替)進む習性のこと。簡単にいうと「ジグザグ」に進むということ。壁にぶつかりながらも、必死に歩む彼の姿に時を忘れて癒され、多くの学びを得た。「人」もまた、壁があることにより進むべき方向が示されるのではなからうか…。あの経営の神様と称された松下幸之助はある本の中で「迷い」についてこう記している。「迷う、ということは、一種の欲望からきているように思う。ああもなりたい、こうもなりたい、こういうふうに出世したい、という欲望から迷いがでてくる。それを捨て去れば問題はなくなる。」と。ゼネラルモーターズのチーフデザイナー、ボルシェのシニアデザイナー等を務めた工業デザイナーの奥山清行氏は「常に迷いも不安もありましたよ。それは当然です。何かを決断するとき、振り子は必ず振れる」と。前に進むためには何に対して迷っているのか、どうしたいのかわかりと自分自身を分析しなくてはならない。私はまだ迷い足りないのだと痛感する。そしてこう思う。「もう少し迷ってみよう。この癒しやノスタルジーを感じさせる目の前の、必死に生きる彼(ダンゴムシ)のように…」と。

(広報委員長：日向 明)